

安来高校植物図鑑（2021年8月）

和名: クルマバザクロソウ（車葉柘榴草）



葉がザクロに似ているザクロソウという野草があります。ザクロソウと比べると、葉が車輪状についている(これを輪生という)ことから、クルマバザクロソウという名前になりました。地を這うように分枝して広がっていきます。花の写真だけではその様子がわかりにくいですが、それよりも驚いたのは、この植物は熱帯アメリカ原産だそうです。だからこそ日本では暑い8月に咲くのですね。日本の夏は熱帯レベルなのだと改めて思い知らされました。そして白い花びらのように見える部分は実は花びらではなく、萼(がく)なのだそうです。果実の様子がザクロに似ているという人もいます。クルマバザクロソウは私が所持している一般向けの野草図鑑には載っていませんでしたので、どうやら普遍的な花ではないようです。

和名: アオツツラフジ（青葛藤、青葛籐）

「落葉つる性木本」と書籍に書いてあったので木の仲間のようなつる性なので、安来高校の自転車小屋近くの植垣にぐるぐる巻き付いていました。つるが自分自身で絡み合っていたので、その様子の写真も載せておきます。雌雄別株で、雌雄で花の形が少し違います。写真の個体は雄株だということがわかりました。アオツツラフジは果実のほう



有名で、晩秋に藍黒色のブドウのような実がなります。もしよろしければネットなどで調べてみてください。植物自体は漢方の生薬になるそうですが、果実は有毒だそうです、食べてはいけません。しかし、近くに雌株は見当たり

ませんでした。受精できるのでしょうか。ちょっと心配になりました。

和名: シロバナツユクサ（白花露草）

安来高校ではあちこちにツユクサが咲いています(2020年6月に紹介)。青い花びらが目立つのですぐにわかります。今年も沢山咲いているなど呑気に散歩していたところ、ビックリして足を止めました。し…白い!何これ?シロバナツユクサというそうです。おそらくツユクサの変種であると思われます。今まで存在を知りませんでした。また1つ新しい種を知ることができ



ツユクサ



シロバナツユクサ

ました。ツユクサの仲間は朝咲いて午後にはしぼんでしまうので、観察される場合は午前中をおすすめします。同窓会館の斜め後ろのあたりに沢山咲いていました。シロバナツユクサは稀に見られる程度だそうですので、観察できたらいいことがあるかもしれませんよ。